

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 8年 3月 10日

事業所名 ぷっちいざらだ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			必要時以外は居室のドアを開けたままにして、出来るだけ空間を広く使えるようにしている。
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			○	主に玄関は大きな段差、階段となっているため支援員が側で見守るなどの支援をしている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者向けの評価表に加え、長期休暇後にアンケートを実施し、現場にフィードバックしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			毎年法人HPIにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	今後、第三者による外部評価の実施なども検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			法定研修に加え、児童への支援の向上につながるような研修も実施している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している			○	児童の評価が職員によって変わらないツールの検討を重ねていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			支援前にミーティングを行い、活動内容や気を付けるべき点などについて確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			支援日の翌日に必ずミーティングを実施し、振り返りを行っている。参加できない支援員には記録ノートを作成し共有を図っている。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	○			事業所の中だけでなく、様々な施設を利用し、地域とのつながりを持てるように努めている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在は医療的ケアが必要な方の受け入れを行っていない。（環境、専門職員などに課題在り）
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			受け入れる直前まで利用していた事業所と必ず引継ぎを行い、情報共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			自事業所を卒業し、次の事業所を新しく利用する場合には担当者と引継ぎを行い、情報共有に努めている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			今年度は、のみ子ども相談ステーションとも連携し、事例検討会を開催している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			長期休みに近隣の児童クラブと交流活動を行っている。また平時の活動でも児童館への外出の機会を取り入れている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○	今後は、ペアレント・トレーニングの研修に参加していくなど保護者対応にも努めていきたい。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			保護者会を開催する事で、各家庭の悩みなどを共有し、心理的な負担軽減を目指している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			事業所単独では行っていないが、法人として地域常民が参加できるイベントを企画し、実施している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			職員はもちろん、子どもたちとも一緒に避難訓練をする事で非常時のイメージをより具体的に想定できるように取り組んでいる。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在は食物アレルギーのある児童は利用していない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			